

そうじの力だより

VOL.230



支援レポート

継続は力なり
プロジェクトメンバーによる推進が、活動定着のカギ

香川県高松市に本社を置き、四つの事業所を抱える、後藤設備工業(株)。空調、給排水、電気などの設備工事を請け負う、社員七六名の会社です。

ここで、弊社のお手伝いにより、整理・整頓・清掃の活動「そうじの力」プロジェクトが始まって、ちょうど一〇年になります。

活動が始まる前は、建設系の会社にはありがちですが、倉庫には現場から持ち帰った資材や設備機器類が山と積まれ、事務所も書類の山でした。

後藤真一郎社長は、当手を振り返って、「必要な書類を三〇分くらいかけて探していた」「私自身、営業先から帰ってくるのが憂鬱な事務所だった」とコメントしています。

そんな状況でプロジェクトをスタートさせ、まずは不要なものを徹底的に捨ててもらいました。

三年くらいかけて、倉庫も事務所内もスッキリし、どこに何があるのかが一目でわかるようになりました。今まで曖昧だったルールも明確化し、健全な規律が定着するようになりました。

そのあとに、老朽化した本社屋を建て替えることになり、「そうじの力」を通じて得られた知見をふんだんに取り入れた、近未来的で働きやすい本社屋が完成し、二〇一八年度の日経ニューオフィス賞を受賞しています。

先日、同社において、久しぶりに外部の方を招いて、「そうじの力」の見学

会が催され、二七名の方々が参加して加してくれました。

見学の冒頭、後藤社長は、「そうじ

の力」によって、より風通しのよい社風ができた。捜し物が少なく、残業時間も以前に比べて減っている。業績も、順調に伸びている」と挨拶してくれました。

プロジェクトリーダーによるプレゼンでは、毎日朝礼後、一五分間清掃をしていること、毎月第三木曜日に、全員参加で三時間の活動を行っていること、そして、春と秋の年二回、会社周辺の清掃活動を行っていることが紹介されました。これらの活動は、プロジェクトメンバーが随時ミーティングをして計画を立て、進めて、進捗を報告してくれています。

また、ITのグループウェアを使って、情報の

必要最小限のモノが収まった倉庫

後藤社長による見学会冒頭の挨拶

フリーアドレスでデスクトップ型の

整理整頓に取り組み、業務の効率化と共有に成功しているとの発表には、参加者の皆さんが大いに興味をそそられたようです。

その後、事務所、倉庫、書庫、そうじ道具置場、廃棄物分別置場などを

以下、参加者の皆さんの感想です。
〈整理整頓されていて、社内がとてもしきれいでした。物の置場が決まっているので、探す手間もはぶけて、仕事もはかどりそう。〉

〈フリーアドレスでデスクトップ型のPCも片付けられているのにおどろきました。とてもきれいな社内です。社員の方が、

とてもよい表情で仕事、プレゼンされていたのが印象的でした。〉

〈物の少なさにびっくりしました。捨てるということの意味がよくわかりました。〉

〈フリーアドレスの導入、社内情報共有のDX化と資料削減による生産性アップと、働きがいのある職場にすることが参考になり、わが社でも今後やってみよう。〉

〈オフィスの清潔感、備品置場の徹底、分かりやすい配置、従業員の方の挨拶が印象に残りました。〉

〈棚の整理整頓の仕方が、使いやすいや管理しやすいと思います。〉

弊社でもさらに取り組みたいです。〉

決して、社屋を建て替えて、きれいになったから、活動は終了ということではありません。

新しいオフィスでも、いろいろな課題が出てきます。それらの課題を、「そうじの力」プロジェクトで一つひとつ地道に解決していくことで、会社組織が強くなっていくのです。

（小早）

倉庫の説明を熱心に聞く参加者

フリーアドレス化された事務所の見学

ITグループウェアのメニュー画面

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



コラム

企業改革は「そうじ」から
〜神戸市営地下鉄の取り組み〜

先日、出張時に、兵庫県の神戸市営地下鉄に乗ったところ、中づり広告に目が留まりました。



そこには、「KOBECATION ACTION」と書かれています。車両に据え付けられたモニター画面には、深夜の駅の壁を、作業員が高圧洗浄機を使って洗い流す映像が映し出されていました。

面白い取り組みだなと思い、その後、ネットなどで調べてみたところ、以下のようなのがありました。

神戸市営地下鉄は、一九七七年(昭和五二年)三月十三日に開業。当初はたった四駅での営業だったが、延伸に延伸を重ねて、今では全一七駅で毎日三〇万人近い利用者があるのだとか。

開業から四七年経った今年三月、神戸市交通局は、沿線価値・ブランド力向上に向けた改革キャンペーン「KOBECATION ACTION」を開始。「駅から神戸をよくしよう」を合言葉に、さまざまなキャンペーンを展開する予定。

第一弾として、市営地下鉄二六駅の壁や床を、順番に本格清掃しているとのこと



(小早)

と。終電以降、始発までの限られた時間の中で、通常は水拭きだけで済ませている床面や壁、これまで手が届かなかった天井近くなどを強力な洗剤や高圧洗浄機を用いて徹底的に洗浄したところ、長年の頑固な汚れが取れ、当初の色を取り戻したとのこと。

この取り組みは、二〇二〇年に、開業から三〇年以上経過した横浜市営地下鉄の戸塚駅で「大掃除」を実施したところ、乗客から好評だったとの評判を聞いて、職員が企画したのだそうです。

ある新聞記事によれば、城南雅一・交通事業管理者(交通局長)は、記者会見で、「特別清掃をやったらこんななきれいになると分かった。ただ、最初に実施したところはすでに汚れ始めているので、今は汚れやすいところを中心に清掃していきたい。駅をきれいにするだけでなく、われわれ職員の意識も変えていきたい」と話したとのこと。

沿線価値・ブランド力向上のために、まずそうじから始めたところが、とても共感できます。やみくもに新しいことに手を出すよりも、まずは今そこにあるものを生かすことが大切ですね。(小早)

編集後記

初体験

先日、出張時に、ホテルの部屋でパソコンに向かっていたら、急に左の腰部に妙なハリを感じ、気づいたら動けなくなっていました。



なるほど、これがいわゆるギックリ腰というやつか...と、初体験の私は納得しつつ、身もだえしておりました。

幸いにも症状は軽く、数日で痛みは取れたのですが、重いものを持ったなどの思い当たるフシがありません。

疲労やストレス、暑さや水分不足なども原因なのかもしれません。みなさんどうぞご用心。(小早)

飛鳥のつばやき

夏休みの洗礼

小1長男、朝顔の花で色水の実験をしたいということで、「ついでにこれで自由研究やっちゃおうぞ!」と、色々準備。



花びらを水の中で揉んで色を出し、お酢を一滴入れて色が変わったところで満足したらしく、ノートをとることもなくテレビの方へ離脱してしまいました。

動機、仮説、記録、考察のハードルの高さ、そして飽きさせずに取り組ませる親の大変さを実感した1年目の夏です...(自由研究は諦めました!)(大概)

株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、
日本で唯一の研修会社

弊社は「そうじ＝環境整備」を通じ

た「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)

X(旧ツイッター)で、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください!